

事業所名

こども支援センターえがお

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和7年

3月

20日

法人（事業所）理念		園訓「愛なき人生は暗黒であり汗なき社会は堕落である」は、自らも全盲という障害を持ちながら、広く全国の障害者のために光道園を創設した初代園長「中道益平」が、生涯を通して貫き通した精神である。私たち光道園職員は、この言葉を「光道園精神」として、いついかなる時も、社会情勢が如何に変わろうとも、継承し実践してゆく。									
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりの個性を大切に、安心感を基盤に人や社会とつながり、自己の力を発揮できるよう支援します。 ・児童の健康状態の把握に努め安心安全な活動を提供し、また、支援上必要な事項について児童又は保護者に対し分かりやすいように説明を行います。 ・関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービス及び教育機関との連携を図り、柔軟性のあるサービスを提供します。 									
営業時間		9時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	*個別にご相談ください
支援内容											
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもたち一人ひとりの特性や発達の過程に配慮し、普段と違った様子はないかきめ細やかに確認していきます。 ・放課後等の時間で、着替え、宿題、おやつ、個別・集団での活動等に向けての準備など生活リズムを身につけていきます。 ・身の回りの整頓・清潔にすること、宿題への取り組み、制服・衣類の着脱等、分かりやすいよう視覚的に示したり、集中できる環境を設定するなど、基本的な生活スキルの獲得を目指します。 ・自分でやりたいことや、活動を選んだり、時間の使い方を考えたりなど、選択し組み立ててできる行動を増やしていけるよう支援します。 									
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・スライム、小麦粉粘土、光遊び、創作活動などを通して、手指の巧緻性の向上や、視覚、聴覚、触覚等を十分に活用し、感覚の発達を促していきます。 ・ドッジボールやサッカー、おにごっこなどを通して、運動能力の向上や、力加減、危機管理能力などの獲得を目指していきます。 ・バスや電車などの交通機関の利用など、社会的な場面における移動手段を活用していけるよう支援していきます。 									
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に認知しやすく一人一人に合ったスケジュールやタイムタイマーなどの情報を適切に提示しながら、自発的な行動を促していきます。 ・音楽の鳴る玩具、パズル、トランプなどの遊びを通して、形、色、音、大小、数、重さ、時間、空間等の概念形成から認知や行動の手掛かりにつなげていきます。 									
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、手話、絵カード等一人ひとりに合ったツールを使い、意思のやりとりができるように支援していきます。 ・伝わる経験を積み重ね「思いを伝えたい」気持ちを膨らませることで、主体的にコミュニケーションを展開していけるよう支援していきます。 ・小グループで活動（集団ゲームや共同作業など）をする中でコミュニケーション身に付けられるよう支援していきます。 									
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちが、スタッフや友だちとのかわりを通して安心感や信頼感を感じながら、安心できる場所としての役割を果たしていきます。 ・相手を思っている発言や行動などを認めていながら、人との関わりの楽しさや自分に自信を持てるようなかわりを目指しています。 ・チームやグループ分けされた集団遊びを通して、ルール理解や協調性を持ち、仲間作りにつながるよう支援していきます。 									
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携を大切にし、随時希望に応じて対面や電話での相談にも対応し、こどもの成長や支援について共有できる機会を設けています。 ・保護者同士の交流の機会を提供します。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージの変化に応じて、関係機関と連携しながら、こどもが安心して新しい環境へ移行できるよう支援します。 ・「子育てファイルふくいつ子」活用し、移行先と連携しながら必要な支援を行い、子どもが新しい環境で自分らしく過ごせるよう、途切れない支援を行います。 			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・学校、相談支援専門員等、各関係機関との情報共有や連携を行い、こどもの成長を支える環境づくりを支援します。 ・ボランティア、実習生の受け入れをしていきます。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・支援の質を高めるため、法人内外の研修に参加し、専門的な知識や技術の習得に努めます。 ・職員同士の連携を大切にし、事例検討や情報共有を行いながら、支援の充実を図ります。 ・日々の振り返りを重視し、支援内容の見直しや改善を行いながら、より良い支援を提供できるよう努めます。 			
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・法人内文化祭、外部団体への作品展示 ・児童発達支援わくわくとの交流活動 ・季節の行事（節分、縁日、ハロウィン、クリスマス会等） ・卒業生を送る会 ・公共施設への外出 ・親子交流会 									